



昨日、東海地方の梅雨入りが発表されました。始めはどんよりとしていましたが風も弱く雨は降っていませんでした。しかし降り出したら風雨共に強くなり、10時50分頃中止しました。トウカイコモウセンゴケのある場所まで行った時、オオヨシキリの声がし、初めての方がいたのでそのまま下って道路を横切り農耕地に進みました。 (@の写真:別の日に撮影)



@オオヨシキリ

農耕地のなかを流れる用水路沿いに生えているアカメガシワのてっぺんで鳴いていました。赤い口を開けてギョギョシギョギョシ、ケケケケスなどけたたましく鳴きます。



ショウリョウバッタ幼虫

後ろ足の腿節(ももに当たる)が長いのが分かります。オンブバッタが出てくるのはもう少し後になります。



@エンマコオロギ幼虫

黒い体に白い線が1本見えます。バッタやコオロギの仲間は、不完全変態なので蛹を作りません。親に似た幼虫が脱皮しながら大きくなっていき翅が整うと成虫です。



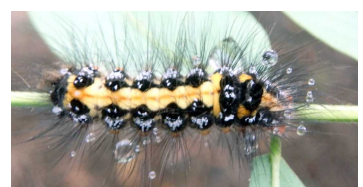
コハナバチ類の巣穴

直径3~4mmの穴の周りに細かい砂粒が積まれています。成虫は7~8mm。裸地で営巣するので庭でも見られます。



ハルジオン

道端の白い花のほとんどがヒメジオンです。木陰で、春先の花が残っていることがあります。



モンシロドクガ幼虫

ハチと同じように黒と黄色の2色で、毒を持っているという警告を発しています。毛が長ければリンゴケンモンの幼虫に似ています。



**テラニシリア
ゲアリ**

体長3^{ミリ}。腹部
先端がとがって
います。ダンゴ
ムシを運ぼうと
悪戦苦闘中。



ハチク

5月下旬
から6月
にかけて
タケノコ

を生じます。モウソウヤマダケのように皮に
模様がないのが特徴の一つです。



コハクオナジマイマイ

殻の中央部(殻頂)が、内部の
軟体の色を反映したレモンクリ
ーム色です。以前は池の周回
路でも見られました。



ヤマトカギバ幼虫

コナラの葉上で見つけました。

写真上のように丸
めた姿しか見たこ
とがありません。

写真右は成虫で40
^{ミリ}くらいあります。



ナラワカメハナツボタマフシ

コナラの若芽にタマバエの幼虫
が作った虫こぶです。鮮やかな
色で、雨で薄暗い中でも目に
付きました。タマバエの成虫の
多くは寄生性で、1~3^{ミリ}位の
小さな細めのハエです。

植物 ムラサキツメクサ、ヒメジョオン2種、セイヨウミヤコグサ終わり、トウカイコモウセンゴケ蕾、ノギラン花
茎のばし始める、ニワゼキショウ、ハルジオン、イヌホウズキの一種、ヤブジラミ実、カラスノエンドウ実、
ヘビイチゴ実、キンシバイ、コマツナギ、コナラ小さな実、ヤマハゼ実、クチナシ、ナンテン、ハチク、モウ
ソウチク、**昆虫** キタキチョウ、ツバメシジミ、ヒメジャノメ、モンシロチョウ多数、ヤマトカギバ幼虫、モン
シロドクガ幼虫、ヒメクロオトシブミ揺籃、アミメアリ、トビイロケアリ、コハナバチ類の巣穴、クリオオアブラ
ムシ(黒色)、セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ(赤色)、ヒメハリカメムシ、ヒメクロオトシブミ揺籃、セ
マダラコガネ、ヤブキリ幼虫、ショウリョウバッタ幼虫、エンマコオロギ幼虫、ヒシバッタ、ナナフシ幼虫、ヒ
ラタアブの一種、オオハナアブ、**クモ** ジョロウグモ幼体(体長3^{ミリ}くらい)、シロカネイソウロウグモ幼
体、サツマノミダマシ、フクログモの類の巣、**鳥・その他** ツバメ、ヒバリ声、ウグイス声、ホトギス声、ヒ
ヨドリ、オオヨシキリ、キジ、ハシボソガラス、スズメ、カワウ、ミシシッピアカミミガメ、イセノナミマイマイ、コ
ハクオナジマイマイ、(虫こぶ)ナラワカメハナツボタマフシ、クズクキツトフシ(シロコブゾウムシが作る)

次回は、7月9日(木) 午前9時30分、水資源機構P前集合、参加費100円